

熊本高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	社会学
科目基礎情報						
科目番号	LK1406			科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	情報通信エレクトロニクス工学科			対象学年	4	
開設期	通年			週時間数	1	
教科書/教材	友枝敏雄・竹沢尚一郎・正村俊之・坂本佳鶴恵著『社会学のエッセンス』新版補訂版 有斐閣アルマ					
担当教員	名和 久仁子,伊藤 利明					
到達目標						
1.社会学の基礎理論について理解し、説明できる 2.行為の分析について理解し、説明できる 3.秩序の解読について理解し、説明できる 4.社会の構想について理解し、説明できる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
社会学の基礎理論	社会学の基礎理論を深く理解し、詳しく説明できる。社会学的調査の方法について深く理解し、詳しく説明できる。		社会学の基礎理論の概要を理解し、だいたい説明できる。社会学的調査の方法について概要を理解し、だいたい説明できる。		社会学の基礎理論をほとんど理解しておらず、説明できない。社会学的調査の方法についてほとんど理解しておらず、説明できない。	
諸事象における人間の行為の分析	諸事象における人間の行為の分析について、深く理解し、詳しく説明できる。		諸事象における人間の行為の分析について、概要を理解し、だいたい説明できる。		諸事象における人間の行為の分析について、ほとんど理解しておらず、説明できない。	
諸事象における秩序の解読	諸事象における秩序の解読について、深く理解し、詳しく説明できる。		諸事象における秩序の解読について、概要を理解し、だいたい説明できる。		諸事象における秩序の解読について、ほとんど理解しておらず、説明できない。	
社会の様々な集団とその問題	社会の様々な集団とその問題について、深く理解し、詳しく説明できる。		社会の様々な集団とその問題について、概要を理解し、だいたい説明できる。		社会の様々な集団とその問題について、ほとんど理解しておらず、説明できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	社会学は、社会的存在としての人間の立場から社会生活そのものを考察していく学問である。この社会学の基礎概念を理解し、具体的生活経験とのかかわりを通じながら、現代社会のより深い認識をめざし、自由な生き方を考える手がかかりをつかむ。					
授業の進め方・方法	授業は教科書に沿って講義形式で行う。社会学がどのような学問であるかを知り、様々な社会事象について社会学的な視点から考える力を養う。現代社会における家族や地域社会・職場などを客観的に見つめ分析する中で、主体的で自由な生き方を身につける。講義内容について課題を課す場合がある。					
注意点	本科目は、3年以下のすべての社会系科目を基礎科目とする応用科学である。自学自習は、教科書の熟読を基本とするが、書物や新聞等により各自の思索を深め、その成果をレポートや課題で検証する。その具体的方法については、講義中に指示する。 本科目では、1単位あたり15時間の自学自習が求められる。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	社会学とはどういう学問か（1）		社会学の発想の雰囲気に触れる。社会学の歴史をたどり、デュルケム、ウェバー、ジンメル等基本的視点を理解し説明できる。	
		2週	社会学とはどういう学問か（2）		同上	
		3週	社会学とはどういう学問か（3）		社会学的研究方法としての統計・事例調査等について学び、調査の見方を理解し説明できる。	
		4週	行為の分析 a.意味と相互主観性		「理解し合う」ということについて考え、相互主観性を理解し説明できる。	
		5週	行為の分析 b.アイデンティティとスティグマ（1）		「私が私であること」を考え、アイデンティティについて理解し説明できる。 他者への烙印がどのような影響を与えるのかを理解し説明できる。	
		6週	行為の分析 b.アイデンティティとスティグマ（2）		同上	
		7週	行為の分析 c.正常と異常		社会における選別と排除のメカニズムについて理解し説明できる。	
		8週	行為の分析 d.予言の自己成就		現実と虚構について学び、予言の自己成就・自己破壊について理解し説明できる。	
	2ndQ	9週	中間試験			
		10週	行為の分析 e.社会構築主義		社会的事実とは何か考え、客観性について理解し説明できる。	
		11週	秩序の解読 a.ジェンダー		女であること・男であることとは何か、社会的性について理解し説明できる。	
		12週	秩序の解読 b.規範と制度		私たちをとりまく社会的ルールについて理解し説明できる。	
		13週	秩序の解読 c.コミュニケーションの自己基準（1）		社会秩序の不思議さ、コミュニケーションのありようについて理解し説明できる。	
		14週	秩序の解読 c.コミュニケーションの自己基準（2）		同上	
		15週	定期試験			

		16週	答案返却 秩序の解説 d.社会のなかの権力	見える権力・見えない権力について考え、権力とは何かについて理解し説明できる。
後期	3rdQ	1週	秩序の解説 e.不平等と正義	格差社会の現状と問題点について理解し説明できる。
		2週	社会の構想 a.共同体（1）	家族とは何か、家族の類型、歴史的変遷、家族の抱える問題について理解し説明できる。
		3週	社会の構想 a.共同体（2）	同上
		4週	社会の構想 a.共同体（3）	同上
		5週	社会の構想 a.共同体（4）	同上
		6週	社会の構想 b.国家と市民社会（1）	国民意識、国家とは何か、市民社会とは何かについて理解し説明できる。
		7週	社会の構想 b.国家と市民社会（2）	同上
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	社会の構想 c.グローバル化と公共圏（1）	情報化社会の問題点を通し、メディアとどのように関わり民主主義を実現するのかを理解し説明できる。
		10週	社会の構想 c.グローバル化と公共圏（2）	同上
		11週	ユートピアと想像力他（1）	ポストモダン社会としての現代の様々な社会問題の具体的事例について、社会学的に理解し説明できる。
		12週	ユートピアと想像力他（2）	同上
		13週	ユートピアと想像力他（3）	同上
		14週	ユートピアと想像力他（4）	同上
		15週	定期試験	
		16週	答案返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合						
		試験	レポート		合計	
総合評価割合		75	25		100	
基礎的能力		15	25		40	
専門的能力		60	0		60	